

# ヤンジジャン・シップビルディング(YAZG)

2025年までは既存設備の高稼働見通しで業績変動リスク限定、クリーンエネルギー技術キャパシティ強化が受注増へ  
 シンガポール | 造船 | 業績フォロー

**フィリップ証券株式会社**

BLOOMBERG YZJSGD:SP | REUTERS YAZG.SI

- 2022/12通期は、売上高が前期比36.8%増、継続事業からの当期利益が同31.3%増。環境規制強化を受けて、グリーン船舶需要が高まった。
- 売上構成比約9割を占める造船事業は売上高が前期比39%増。受注高は会社計画比2.2倍(71隻)、12月末受注残が140隻と拡大。
- 2025年までは既存設備の高稼働見通しにより業績変動リスクが限定され、クリーンエネルギーの技術面キャパシティ強化が受注増に貢献。

## What is the news?

2/25発表の2022/12通期は、売上高が前期比36.8%増の207.05億元、粗利益率が同1.5ポイント上昇の15.4%、継続事業からの当期利益が同31.3%増の26.24億元。新型コロナ禍に伴う供給網の混乱を受けての数年來のコンテナ船の特需が落ち着いたことから受注増のペース減少も、環境規制の強化を受けて、再生可能エネルギーを用いた「グリーン(green)船舶」へ需要が高まった。既存の造船キャパシティブル活用を通じた建造のスムーズな進捗も増収に貢献した。2H(7-12月)は、売上高が前年同期比16.7%増の109.63億元、粗利益率が同3.2ポイント上昇の16.2%、継続事業からの純利益が同35.9%増の14.55億元だった。

通期の事業セグメント別業績は以下の通り。①主力の造船事業は、売上高が前期比39%増の183.72億元、粗利益率が同1ポイント上昇の13%。受注高は、会社計画比2.2倍の44.3億USDと大幅に拡大。会社目標7を上回る71隻を受注した。12月末受注残が105.1億USD(140隻分)となった。②海運事業は、売上高が同44%増の13.82億元。チャーター契約における運賃レートを健全に引き上げることができた。セグメント利益も同39%増の6.67億元に伸びた。③船舶解体や貿易、造船の設計、および事業スピンオフに伴う投資などを行う「その他事業」は、売上高が同3%減の9.50億元、粗利益率が同8ポイント上昇の23%。貿易数量の減少が響き減収も、営業費用の削減により利益率が改善した。

## How do we view this?

会社見通しでは、足元で拡大した受注に対して2025年までは既存設備のキャパシティを高い稼働率で賄うことができるとのことであり、当面の業績変動リスクは限定的と見込まれる。

同社は、世界で一流の造船会社として生き残るため温暖化ガスの排出を抑えた「クリーンエネルギー」への技術的対応を急いでいる。昨年9月、LNG(液化天然ガス)タンクに関しステンレス鋼で覆うことで低温を保ちガス膨張を吸収する「GTTマークIIIメンブレン」技術活用の船舶建造のための国際的な「GTTライセンス」を取得。それに加えて、史上初の17万5千立米(m<sup>3</sup>)のLNG船舶、およびLNGにアンモニア補助燃料タンクが付いた二重燃料のコンテナ船の受注も可能としている。このような技術面のキャパシティ強化が順調な受注拡大に貢献しているとみられる。

## 業績推移

※参考レート 1SGD=107.06円、1人民元=19.96円

事業年度	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12F	2024/12F
売上高(百万円)	14,841	15,137	20,705	25,683	27,118
当期利益(百万円)	2,516	3,698	2,807	3,235	3,544
EPS(円)	0.64	0.96	0.71	0.82	0.90
PER(倍)	12.23	8.16	11.03	9.55	8.72
BPS(円)	8.40	9.16	4.45	5.00	5.62
PBR(倍)	0.93	0.85	1.76	1.57	1.39
配当(SGD)	0.01	0.01	0.01	0.04	0.05
配当利回り(%)	0.68	0.68	0.68	2.74	3.42

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

 配当予想(SGD) **0.04** (予想はBloomberg)  
 終値(SGD) **1.46** 2023/7/3

## 会社概要

1956年設立の中国の造船メーカー。漢字名は「揚子江船業」。中国江蘇省の長江(揚子江)沿いに5つの造船所を有し、中型から大型のコンテナ船、ばら積み貨物船、およびLNG(液化天然ガス)船を含む幅広い商業船舶を建造する。北米、欧州およびその他の地域をカバーする顧客ネットワークを確立している。

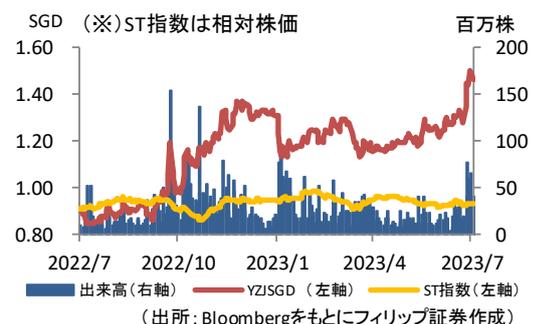
グループ会社は江蘇新揚子造船有限公司、江蘇揚子新福造船有限公司、江蘇揚子三井造船有限公司、江蘇揚子江造船有限公司で構成され、上海と南京から170キロメートル離れた長江下流の「黄金水道」の両岸に沿って靖江市、泰興市、太倉市に位置する。現在、グループの総資産は700億元を超え、500万平方メートル以上の面積をカバー。埠頭の海岸線は7,000メートル以上にわたる。

2007年4月にシンガポール取引所(SGX)のメインボードに上場し、現在はシンガポール上場の30銘柄によるST(ストレーツ・タイムズ)指数の構成銘柄でもある。

同社は、①造船、オフショア海洋機器の建設、船舶の設計を行う「造船セグメント」、②船舶の運航に係る「海運セグメント」、③船舶解体や貿易、造船の設計、および事業スピンオフに伴う投資などを行う「その他セグメント」を営む。

## 企業データ(2023/7/4)

ベータ値	0.70
時価総額(百万SGD)	5,807
企業価値=EV(百万SGD)	4,298
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	56.6



## 主要株主(2023/6)

1.YANGZI INTERNATIONAL	21.59
2.LIDO POINT INVESTMENTS LTD	9.98
3.ティー・ロウ・プライス・グループ	6.98

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## リサーチ部

笹木 和弘  
 +81 3 3666 6980  
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

- ・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。